

令和6年11月
鳥栖市教育委員会
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 1 1 月定例会

2 開 催 日 時

令和 6 年 1 1 月 2 0 日（水） 9 時 0 0 分開会 1 0 時 2 6 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 3 委員会室

4 会 議 の 公 開

一部非公開

5 出 席 委 員

佐々木教育長、古澤教育長職務代理者（委員）、戸田委員、森田委員、大石委員

6 出席事務局職員

姉川教育部長、牛嶋教育部次長兼生涯学習課長、佐藤教育総務課長、井手学校教育課長、立石学校給食課長兼学校給食センター所長、権藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事、久家生涯学習課参事、豊増生涯学習課参事兼放課後児童クラブ支援室長、西木教育総務課長補佐兼総務係長、辻教育総務課長補佐兼教育支援係長、久山生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、岡本学校給食課長補佐兼学校給食センター係長、古賀学校教育課インクルーシブ教育推進係長、佐藤放課後児童クラブ支援室放課後児童クラブ支援係長、島生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長

7 傍 聴

1 人

8 経 過 報 告

10月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

10月定例会の議事録承認

【承認】

10 報告事項

コミュニティ・スクールに係る意識調査結果について

11 議案

議案第24号 議会の議決を経るべき議案の原案について

(令和6年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管補正予算)

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会12月定例会 令和6年12月11日(水) 8時30分から

○佐々木教育長

ただいまから教育委員会 11 月定例会を始めます。議事に入ります前に委員の皆様にお諮りいたします。議案第 24 号の議会の議決を経るべき議案の原案について、令和 6 年度鳥栖市一般会計教育委員会所管補正予算につきましては、鳥栖市教育委員会会議規則第 11 条第 1 項第 3 号に該当するため、非公開により審議を行うことに御異議ございませんでしょうか。

○各委員

異議なし

○佐々木教育長

異議なしとして、議案第 24 号につきましては非公開により審議することに決しました。それでは事務局より経過報告をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局から報告が終わりましたが、ご質問等ありますでしょうか。

○古澤委員

11 月 14 日に開かれているいじめ問題対策委員会については、定例的な委員会だったのか、それとも新たないじめ事案が発生したのか、もしくは以前からの事案の継続的な委員会になるのでしょうか。

○井手学校教育課長

11 月 14 日の第 6 回鳥栖市いじめ問題対策委員会につきましては、10 数年前に鳥栖西中学校で発生した鳥栖西中学校のいじめの重大事態についての委員会でございます。

○佐々木教育長

他にご質問等ありますでしょうか。10 月、11 月に開催されました小学校の運動会については、委員の皆様参観等ありがとうございました。気候的にはちょうどよかったと思っていますところです。また学校訪問も田代中学校を最後に無事終わることができました。そちらも御参加ありがとうございました。それでは他に質問等ないので次に進みます。議事録承認については、今回は 10 月の定例会の議事録を事前にお配りしております。内容等の修正とありますでしょうか。無いようでしたら、10 月の定例会の議事録について御承認頂くということでよろしいでしょうか。

○各委員

異議なし

○佐々木教育長

ありがとうございます。誤字等の修正がある場合は、事務局のほうへ御連絡をお願いします。それでは報告事項に入ります。コミュニティ・スクールに係る意識調査結果について事務局より説明をお願いします。

○榎藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりましたが、ご質問等ありますでしょうか。

○大石委員

ご説明ありがとうございました。アンケートの中で「コミュニティ・スクールの取組や先生の仕事の負担軽減につながっていると思いますか」という質問をされているのですが、コミュニティ・スクールは働き方改革とか、先生の負担を減らすことが目的だったのかなと気になったので、このことを聞いた趣旨をお聞きしたいです。昔は地域で、学校を中心とした取組が出来ていたけれども、出来なくなっているために、コミュニティ・スクールの取組があると思っていますが、それによって先生達が楽になるためではなく、子ども達のために一緒に頑張ろうという意味合いと思っているのでお尋ねさせて下さい。また学校ごとの分析結果は示されていませんが、学校によってアンケート結果や今後の改善策も変わってくると思いますので、次回以降示していただいた方が良いかと思いました。

○榎藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

コミュニティ・スクールによって負担軽減につながっているかということを知っているのかということですが、前回までも同様の質問をしており、回答の推移をみるためということもあるかと思います。コミュニティ・スクールの目的については、鳥栖市学校運営協議会規則の第2条に「協議会は、学校運営及び当該運営の必要な支援に関して協議する機関として、教育委員会及び校長の権限の責任の下、保護者、地域住民等の学校運営への参画や、保護者、地域住民等による学校運営の支援及び協力を促進することにより、学校と保護者、地域住民等の間の信頼関係を深め、学校運営の改善や、児童生徒の健全育成に取り組むことを目的とする。」とありますので、先生の負担軽減が目的ではないと考えます。

○大石委員

説明ありがとうございました。目的は私も今言われたとおりに思っています。ただ、見た感じ、コミュニティ・スクールの取組が各学校管理職や教務の先生など4、5人で忙しく対応されているイメージがありまして、他の先生方には目的が伝わっていないのではと感じています。コミュニティ・スクールの取組によって大変になると思われる先生方もいるかもしれませんが、最初からいきなり負担軽減にならなくて、むしろ大変だと思います。なので、負担軽減につながっていますか。という問い方ではなく、どのようにすれば負担軽減につながる方法があると思うか。などを質問された方がいかなと個人的に思いました。

○佐々木教育長

アンケートの取り方については、来年度に向けて検討をしていただきたいと思います。

コミュニティ・スクールというのは、学校のお手伝いをするためのものではないということは校長会等でも話をされていて、行事をお手伝いするとかイベントをやるためのものではなく、学校と地域と保護者が同じ目標を持って、どんな子供を育てていこうかという議論が深まっていくことが最も大事なことでと解釈しています。そしてそれを実現していくために具体的に学校、地域の中でどんなことをやろうか、ということを経験されて取組が行われる流れが本来の姿だと思います。具体的な取組として、様々変わってきているところがあると思います。今年度から新しく始まった取組があったら事務局より紹介してもらってもよいでしょうか。

○榎藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

新たな取組ではないのですが復活した取組としては、鳥栖西中で「職業人に学ぶ」という昨年度までストップしていたものを今年度から再開しているという報告があります。

○古澤委員

この保護者、教職員へのアンケートはどのような形で取られたのでしょうか。

○榎藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

アンケートはグーグルフォームを使って取っております。質問内容に対して4択式で回答してもらっているところです。

○古澤委員

そのやり方でも良いかと思いますが、コミュニティ・スクールについての理解度や協力度などの推移を把握したいのであれば、例えば、コミュニティ・スクールについては御存じですか。という質問で終わるのではなく、学校の授業の在り方について保護者がどう思っているのかとか、保護者や地域の方の協力体制について地域的に意識をもって組んでいるのかとか、コミュニティ・スクールを含めた学校に対する、要望や今後取り組んでほしいことなど、学校や地域そして何より子どもたちが変わってきているところで、その辺りをとらえたアンケートのやり方をしてはどうかと思いました。また最後の方に、自由記述の内容を全て挙げられておりますが、項目ごとに主立ったものをまとめるとか、似たような回答はまとめて何件だったとか工夫された方がよいかと思いました。またグラフについても、色使いを工夫されたりしてより良い資料を作っていただいた方が、私たち教育委員の理解も進むのではないかと思います。

○井手学校教育課長

資料の作り方や、質問の中身につきましては、次年度に向けて検討させていただきたいと思います。またコミュニティ・スクールの意義について、回答者である教職員、保護者全員が意義を理解して回答しているかというと、そうではないと思います。校長、教頭研修会を通して、まずは管理職から理解するように努めていかなければいけないと思います。

教育長も言われておりましたが、目指す子ども像を地域と共有して、前回の学習指導要領の改訂で、地域に開かれた教育課程についても書かれておりますし、地域と共に子ども達を育てるためにどういった教育課程を組むのか、コミュニティ・スクールの中で取り組んでいかなければいけないと思っています。また学校というものは長期で見ると不安定な組織だと思っていて、10年後にはその学校で勤務していた教職員は居なくなるけれども子どもはその地域で育っていくので、このアンケートの自由記述にもありますが、地域との関係性が希薄になっているとか、子供たちがつながる大人がいないといった記述もあります。やはり未来をつくっていく子供たちが地域で育っていくときに、地域の方が教育の中に入っていなければいけないと思いますし、それを出来るように全国的に見直していこうという取組だと思いますので、市内12校で理解深めながら今後進めていければと思います。

○戸田委員

このアンケート結果の公開は、どのようになっているのか教えていただいてもよろしいでしょうか。

○榎藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

公開はしておりませんが、校長会でお示しして、学校へ共有しているところです。

○戸田委員

公開されているのであれば、コミュニティ・スクールの理解度を、醸成するためにもうまく使えたらいいなと思ったところでした。校長会での資料として使うのであれば、先ほど古澤委員も言われましたけれども、自由記述欄のこの意見に対しては、こう対応する。というところを整理して、中には真摯に受け止めなければいけない回答もあると思いますので、回答してもらってそのままにするのではなくて何か活かす方向を考えていただければという要望です。また先ほど大石委員も言われていましたが、アンケート結果の学校ごとの整理、分析が大事だと思いますので御検討のほどお願いします。

○榎藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

各校の分析結果については、各学校にお示しをしているところです。そしてそれをもって学校運営協議会でお諮り頂いて、それについて学校評価をしていただくような形にしております。

○古澤委員

このアンケートは毎年取られているのでしょうか。毎年となってくると、例えば新入生の保護者の方は初めてなので、アンケートに対しても協力的かなとは思いますが、毎年となると保護者の方のアンケートに対するアレルギーみたいなことも出てくるんじゃないかなという気がします。またアンケートというのは、基本的には自分たちが協力したという意識が強いと思うので、結果をオープンにするかどうかは検討されて良いかと思いますが、尋ねられたときにきちんと返せるようなデータの準備はされ

ていた方が良いかと思います。

○佐々木教育長

的確な指摘をいただきありがとうございます。3年前から毎年言っていることですが、教職員が学校運営協議会を知らないという回答があるということが、あり得るのかと思っています。学校教育目標を協議、承認をするような立場である学校運営協議会ですので、本来ならば、当然みんなが知っていなければいけないと思います。またアンケートを取ることが目的になってはいけないので、この結果をしっかりと各学校で振り返って、今後の取組に活かして欲しいと思います。それでは次に移ります議案第24号、議会の議決を経るべき議案の原案について議題といたします。冒頭に非公開により行うことを決定しておりますので、傍聴の方は退室をお願いします。

(非公開の議事開始)

以下の議事については非公開
議案第24号 議会の議決を経るべき議案の原案について。
(令和6年度鳥栖市一般会計教育委員会所管補正予算

(審議の結果、議会の議決を経るべき議案の原案について、令和6年度鳥栖市一般会計教育委員会所管補正予算は承認)

(非公開の議事終了)

○佐々木教育長

それでは次に今後の予定について事務局の説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局より説明が終わりましたが、御質問ありますでしょうか。それでは本日の議題につきましては全て終了いたしました。長時間御審議ありがとうございました。これをもって鳥栖市教育委員会11月定例会を終了いたします。